

令和3年1月26日

保護者の皆様

ヤンゴン日本人学校

校長 刑部 之康

## 新型コロナウイルス感染症対策について その30

### 【学校への登校再開について】

日本では、「非常事態宣言」が発令され、感染者数がおさまらず緊迫した状態が続いています。

一方、ミャンマーでは、国内全体で感染者数が減少し、ヤンゴン管区内では100名を下回る日も出てきました。

それでも、コロナウイルスの変異種への警戒感から、予防措置は緩和されている状況ではなく、学校への登校再開の時期も未定です。

この状況の中、本年度着任予定でした、久保田(小4担任)、若竹(小5担任)の2名が、1月21日の救援便により、ようやくヤンゴンに赴任いたしました。現在、ホテルにて隔離中です。

ヤンゴンでの感染者の減少に伴い、学校の再開が可能なのではないかとのお問い合わせもありますので、今号では「学校への登校再開について」として、現在、お伝えできる範囲での現状等と、学校の方針をお知らせします。

### 1. 「学校へ登校再開の時期」について

在ミャンマー日本国大使館附属の日本人学校として、学校の再開(児童生徒等の登校の再開)の時期については、「ミャンマーの公立学校の動向にあわせること」との、指示が大使館より出ております。

したがって、ミャンマーの公立学校がミャンマー政府から許可され再開される時期と合わせて、本校としても学校再開、児童生徒等の登校の再開をする予定です。

今現在、ミャンマーの公立学校は、教育省の指示があり、教職員が出勤を開始して、学校再開のための準備をすすめているようです。

## 2. 「登校再開時の登校」について

ミャンマー政府からの学校(児童生徒の登校)再開の許可があった場合でも、クラスター予防のため、児童生徒等の分散登校、教職員の分散出勤をいたします。

再開当初は園児、児童、生徒は三分割での分散登校、教職員は二分割での分散出勤とする予定です。

その後、感染状況やミャンマー教育省の方針をふまえて児童生徒等の登校を二分割、さらに全員登校と移行してまいります。

## 3. 「登校再開時の授業」について

現在の本校の在籍者数は幼小中で76名です。そのうち、ヤンゴン在住者は34名で、その他の園児・児童・生徒は日本、その他の国等での一時帰国中です。

また、授業を担当する教員の多くは未だに日本国内待機中です。文科省の方針により、今後の教員の赴任は4月以降となります。

したがって、学校への登校が再開となりましてもオンライン授業を継続いたします。

## 4. 「登校の際の注意事項」について

登校再開の時期は未定ではありますが、学校では、入校の際の体温チェック、教室内の机の数の限定、机ごとのシールドの設置、水道やトイレ等のソーシャルディスタンスを保てる表示、また体調を崩した場合の保健室別室を設置、消毒の際の作業道具などを用意、さらに対応の原則を示した「『新型コロナウイルス感染症対策』校内マニュアル」を作成し、このマニュアルをふまえた研修会も実施するなど、感染対策を万全に整え、完了しております。

登校可能となった場合、ご家庭でも体調管理をしっかりといただき、少しでもご心配なことがあれば登校を控えてください。

さらに、学校において体調を崩した場合の対応として、以下の『ガイドライン』を作成いたしましたので、ご確認ください。

※ヤンゴン当地では、月曜日と木曜日の午後1時より3時まで、図書貸出と返却のために図書館を開館、また文具等の購入のために購買部を開店しております。

「学校への登校再開」前ですが、ヤンゴン在住者の方は利用できますので、コロナ感染症対策、(マスク着用、手洗いの実施、体調管理等)をしっかりと行った上でご来校ください。

# 発熱・体調不良が発症した場合

## ～診察から隔離までの流れ～ 家庭版

～お願い～

- ・毎日体温測定と健康観察を必ず行ってください。
- ・少しでもいつもと違う様子や症状があれば欠席し、かかりつけ医に相談してください。
- ・同居家族などがコロナ感染が疑われる場合は登校を自粛するようお願いいたします。
- ・規則正しい生活を送るように心がけ健康管理をしてください。
- ・相談または診察を受けた後、結果を学校に連絡をしてください。

